

平成 30 年度 第 1 回 学校関係者評価委員会(柔道整復学科)議事録

【日時】平成 30 年 9 月 19 日 (水) 19 時～20 時

【場所】日本医学柔整鍼灸専門学校 本校舎 001 教室

【出席】委員 伊藤 述史 (公益社団法人東京都柔道整復師会 会長)
小泉 利幸 (三進興産 営業部長)
佐藤 和伸 (佐藤代田整骨院 院長) 計 3 名
学校 奥田 久幸 (校長)
岸本 光正 (副校長)
木下 美聡 (フロンティア推進部長)
伊藤 恵里 (副学科長) 計 4 名
事務局 大友 員彦 (事務部長代行)
小浜 悠樹 (教務グループ職員) 計 2 名
合計 9 名、敬称略

【欠席】委員 加瀬 剛 (キネシオ接骨院 院長)
道狭 浩子 (ひろこ整骨治療室 院長) 計 2 名

<議題>

前回いただいた意見の活用状況として、キャリア支援センターの取り組み、メンタルカウンセラー導入についての報告がなされた。

学校経営業績重要指標の進捗状況の報告をおこなった。

定量目標である「退学・除籍率」「就職率」「定員充足率」「国試合格率」における第 1 四半期の進捗状況を説明した。

自己評価報告書について、昨年と比較して評価に変更があったものについて報告した。

(委員の意見・質問)

資格を取得した後は、様々な働き場があるが、開業を目指す学生に対しても支援や指導が必要と感じている。

(委員の意見・質問)

国試は年々難しくなっている。

国試合格率はほかの学校にも比較されやすい。

カリキュラム変更についていけない学校は厳しい状況にある。
合格率はとても重要だと思っているので、向上を期待したい。

以上

平成 30 年度 第 1 回 学校関係者評価委員会（鍼灸学科）議事録

【日時】平成 30 年 9 月 20 日（木） 15 時～16 時

【場所】日本医学柔整鍼灸専門学校 本校舎 001 教室

【出席】委員 菊池 優子 (貴子鍼灸治療室 副院長)
前田 真也 (カリスタ株式会社 代表取締役)
前田 千尋 (カリスタ株式会社 院長)
鈴木 幸次郎 (日本内経医学会 運営委員) 計 4 名
学校 奥田 久幸 (校長)
岸本 光正 (副校長)
青木 春美 (学科長)
中村 幹佑 (学科教員、教務委員長)
渡邊 靖弘 (学科教員) 計 5 名
事務局 大友 員彦 (事務部長代行)
小浜 悠樹 (教務グループ職員)
柏 達也 (教務グループ職員) 計 3 名
合計 12 名、敬称略

【欠席】委員 藤原 良次 (株式会社アールエフ 代表取締役) 計 1 名

< 議題 >

学校経営業績重要指標の進捗状況の報告をおこなった。

定量目標である「退学・除籍率」「就職率」「定員充足率」「国試合格率」における第 1 四半期の進捗状況を説明し、意見交換した。

自己評価報告書について、昨年と比較して評価に変更があったものについて報告した。

(委員からの意見・質問)

オープンキャンパスは不定期におこなっているのか？

(学校の回答)

週末とほぼ毎日個別相談会を開催している。

(委員からの意見・質問)

卒業生が話すオープンキャンパスはどうか？

自分は母校で卒業生として数回おこなった。

来校時の出願が増えているのは、4大分野の魅力が伝わっていることが寄与したのか？

(学校の回答)

卒業生イベントは以前おこなったことがあるが、前向きに検討したい。
来校者へヒアリングした結果、とりあえず来たという方が減った。

(委員からの意見・質問)

業界フェスタの集客が下がった原因は？

(学校の回答)

告知不足だったと感じている。

(委員からの意見・質問)

鍼灸接骨院への就職割合は？

(学校の回答)

ほとんどだと思われる。

(委員からの意見・質問)

入学希望者の振り分けはできているか？

(学校の回答)

倍率を出すことが課題となっている。
高校偏差値と国試合否の関連性などを分析している。

(委員からの意見・質問)

卒業生に対しておこなっていることはあるか？

他校では卒業生を対象に駅前に登録制のシェアサロンをおこなっている。

(学校の回答)

以前は本校でも卒業生も受け入れていたが、現状は受け入れていない。
単位数が増えた関係で、3年生になると臨床実習で治療院を使用するため、シェアサロンは現状難しいと感じている。

(委員からの意見・質問)

卒業生のとの交流が大事と感じている。

(学校からの意見・質問)

今後企業と連携した授業をしなければいけないので、意見をいただければと思っている。

(委員の回答)

ネットを活用した情報発信、ノウハウセミナー、HPの作り方などはいかがでしょうか？

生活習慣についてはどうか？

生活習慣はとても大事であるが、生活習慣のアドバイスなどは学校では勉強していないので、何を患者様に言っているのか分からないので、オレンジページなど雑誌が参考になるのでは思う。

(学校の回答)

貴重な意見だと思うので、参考にさせていただきたいと思う。

以上

平成 30 年度 第 2 回 学校関係者評価委員会(柔道整復学科)議事録

【日時】平成 31 年 2 月 13 日 (水) 18 時～19 時

【場所】日本医学柔整鍼灸専門学校 本校舎 001 教室

【出席】委員 伊藤 述史 (公益社団法人東京都柔道整復師会 会長)
加瀬 剛 (キネシオ接骨院 院長)
小泉 利幸 (三進興産 営業部長)
道狭 浩子 (ひろこ整骨治療室 院長) 計 4 名
学校 奥田 久幸 (校長)
岸本 光正 (副校長)
伊藤 恵里 (副学科長)
木下 美聡 (フロンティア推進部長)
大隅 祐揮 (柔道整復学科教員) 計 5 名
事務局 大友 員彦 (事務部長代行)
柏 達也 (教務グループ職員)
伊藤 真紀 (教務グループ職員) 計 3 名
合計 12 名、敬称略

【欠席】委員 佐藤 和伸 (佐藤代田整骨院 院長) 計 1 名

< 議題 >

1. 意見の活用状況

前回意見をいただいた内容について、報告をおこなった。

(前回の意見) どのような開業支援プログラムをおこなっているか?
開業支援プログラムについての報告をおこなった。

(前回の意見) キャリア支援室はどのような取り組みをおこなっているか?
キャリア支援室の活動取り組みについて、報告をおこなった。

(委員の意見・質問)

キャリア形成におけるスケジュール設定は良いと思う。

(委員の意見・質問)

卒後3年後の離職率・定着率は分析しているか？

(学校の回答)

卒業生と連絡がつかない場合が多く、現状では統計がとれていない。
改善策を考えていきたいと思っている。

2. 学校経営業績重要指標の進捗状況について

定量目標である「退学・除籍率」「就職率」「定員充足率」「国試合格率」における第3四半期の進捗状況の説明をおこなった。

(委員の意見・質問)

中退者の内訳や時期は把握しているか？

(学校の回答)

時期、理由ともに把握はしているが、更なる分析が必要である。

(委員の意見・質問)

就職率の見込と現実の数字はしっかり区別していくべき。

(委員の意見・質問)

学生募集に関して、高卒へのアプローチは感じるが、大卒へのアプローチに力をいれても良いのではないか。

(委員の意見・質問)

世間的に柔道整復師がどのような職業なのかのまだまだ認知度が低い、伝わるコンテンツを作ってもよいのではないか。

(委員の意見・質問)

国試合格率目標が100%ではないのは、なぜか？

(学校の回答)

現状の在校生の学力状況（学内成績、実力試験、模試など）を鑑み、より具体的な目標を設定している。

（委員の意見・質問）

学力上位層をさらに育成強化する取り組みも重要だと思う。

またそれを募集力に活かすことも考えるべき。

（学校の回答）

授業外の取り組みでおこなっているが、内容を精査し、実行する方向で検討したい。

以上

平成 30 年度 第 2 回 学校関係者評価委員会（鍼灸学科）議事録

【日時】平成 31 年 2 月 14 日（木） 15 時～16 時

【場所】日本医学柔整鍼灸専門学校 本校舎 001 教室

【出席】委員 菊池 優子 (貴子鍼灸治療室 副院長)
前田 真也 (カリスタ株式会社 代表取締役)
前田 千尋 (カリスタ株式会社 院長)
藤原 良次 (株式会社アールエフ 代表取締役)
鈴木 幸次郎 (日本内経医学会 運営委員) 計 5 名
学校 奥田 久幸 (校長)
岸本 光正 (副校長)
青木 春美 (学科長)
中村 幹佑 (教務委員長、鍼灸学科教員)
亀谷 文人 (鍼灸学科教員)
山中 直樹 (鍼灸学科教員)
渡邊 靖弘 (鍼灸学科教員) 計 7 名
事務局 大友 員彦 (事務部長代行)
小浜 悠樹 (教務グループ職員)
柏 達也 (教務グループ職員)
伊藤 真紀 (教務グループ職員) 計 4 名
合計 16 名、敬称略

< 議題 >

1. 意見の活用状況の報告

(前回の意見)「人の話を聞く事ができない新人が多い」が学校としてどのように指導していくか？

来年度の「総合演習」のプログラムおよび「臨床実習」についての説明と意見収集をおこなった。

(学校からの意見・質問)

来年度「臨床実習」を担当するが、治療以外の気遣いも大事と感じているが、皆さんはどのように指導をしているか。

(委員の回答)

こういうものだよと言い切ってしまうと、応用がきかなくなってしまう。

相手の気持ちを体感させることが大事だと思う。

当院では、5～6人のグループに分けて、互いに体験、フィードバックをおこなっている。

(委員の回答)

従業員に対して面接時のことを覚えていて、それを従業員に伝えるとやる気が上がったという出来事があった。

1年時から些細な変化も見逃さないことが大事なのではないかと思う。

(委員の回答)

相手を思いやるには、相手を知ろうとする力が大事だと思う。

相手を知ろうとする力、聞き出す力がある人はコミュニケーション能力が高い人だと思う。

相手を知ることができれば、相手がしてほしいことを探ることができる。

例えば、トレーニングとして、5分間相手の趣味について聞いてみるのはどうか。

(学校の回答)

ぜひ参考にさせていただきたいと思う。

(学校からの意見・質問)

「総合演習」の授業では、グループ学習をおこなうが、クラス内の協力が不可欠となる。

(委員からの意見・質問)

クラス委員長や副委員長はどうやって決めているのか？

(学校の回答)

担任やクラスによって異なる。

(委員からの意見・質問)

クラス委員長や副委員長の役割や目的を明確にすると良いと思う。

また「総合演習」の授業内で将来像について、しっかり考えることが重要と思う。

2. 学校経営業績重要指標の進捗状況について

定量目標である「退学・除籍率」「就職率」「定員充足率」「国試合格率」における第3四半期の進捗状況を説明し、意見交換をおこなった。

(委員からの意見・質問)

就職に関して、業界フェスタ後の面談強化とは何か？

(学校の回答)

業界フェスタ後に、キャリアセンター職員と学生でより詳しく就職希望先を詰めていく。

(委員からの意見・質問)

業界フェスタは強制でおこなっているか？

参加率はどうか？

(学校の回答)

強制ではおこなっていない。

毎回、70～100名が参加している。

(委員からの意見・質問)

業界フェスタに参加している学生は意識が高いと感じている。

業界フェスタ内で、学生が治療院見学の予約までできると、希望先への就職率がより上がると思う。

(学校の回答)

ぜひ検討していきたいと思う。

以上